

2015 年度私立大学図書館協会東地区部会総会 議事要録

日 時：2015 年 6 月 13 日（土） 10：00～11:10

会 場：東北学院大学 8 号館 5 階 押川記念ホール

開会の辞	司会者（会場校）	東北学院大学図書部図書情報課課長	小野寺 洋子
開会の挨拶	部会長校	学習院大学図書館長	脇坂 明
挨拶	会長校	東洋大学図書館長	青木 辰司
挨拶	会場校	東北学院大学副学長	原田 善教
議長選出	司会者（会場校）	東北学院大学図書部図書情報課課長	小野寺 洋子
開会宣言	議長	成蹊大学図書館事務室部長	高浜 武則

開会の辞、挨拶に続き議長の選出が行われ、議長が開会を宣言した。

議長より部会総会に先立ち、出席校が会則（私立大学図書館協会会則第 29 条）の定足数に達し部会総会が成立した旨の報告があり、議事進行に入った。

<部会総会成立状況>（6 月 13 日 10：00 時点）

加盟校数：269 校

（部会総会成立に必要な校数は 269 校の過半数＝135 校以上）

出席校：93 校

委任状提出校：171 校

合計：264 校

議 事

I. 報告事項

1. 2014 年度 東地区部会報告

部会長校（学習院大学（中村）より、資料（pp.7-11）に基づき、2014 年度東地区部会会務報告があった。

引き続き、研究部担当理事校桜美林大学（佐々木）より、資料（pp.12-14）に基づき、研究部活動について報告があった。

2. 2014 年度 協会関係報告

部会長校学習院大学（中村）より、資料（pp.15-33）に基づき、協会会務報告、委員会報告（協会賞審査委員会、研究助成委員会、国際図書館協力委員会、協会ホームページ

ジ委員会)及び協会関連事項報告(国公立大学図書館協力委員会関連、国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会、日本図書館協会関連、後援・共催事項)があった。

3. 2015年度 協会役員校、委員会及び協会関連団体等委員

部会長校学習院大学(中村)より、資料(pp.34-36)に基づき、2015年度役員校、委員会及び協会関連団体委員について報告があった。

以上の報告を受け質疑応答に移ったところ、質問はなかった。

II. 協議事項

1. 2014年度 東地区部会決算報告及び監査報告

部会長校学習院大学(中村)より、資料(p.39)に基づき、2014年度東地区部会決算報告の説明があった。

2. 2014年度 東地区部会研究部決算報告及び監査報告

研究部担当理事校桜美林大学(佐々木)より、資料(p.40)に基づき、2014年度東地区部会研究部決算報告の説明があった。

協議事項1、2の説明を受けて、前年度監事校立教大学(宇佐見)より、東地区部会決算及び東地区部会研究部決算報告について、関係帳簿及び証憑書類を精査した結果、両決算ともに適正であるとの監査報告があった。

以上の説明を受け質疑応答に移ったところ、質問はなかった。

議長から拍手をもって承認に代えたいとの提議があり、協議事項1、2について拍手で承認された。

3. 2015年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)

部会長校学習院大学(中村)より、資料(pp.41-42)に基づき、2015年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について説明があった。

4. 2015年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)

研究部担当理事校桜美林大学(佐々木)より、資料(pp.43-44)に基づき、2015年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)について説明があった。研究分科会報告大会は2015年12月に明治大学にて、研修会は2015年11月に成城大学にて開催される予定であることが報告された。

協議事項 3、4 の説明を受け質疑応答に移った。

質問：総会冒頭での会長校館長挨拶において、西地区部会における中小図書館の交付金増額が決まったと聞いたが、詳細を教えてください。合わせて東地区部会において、今回の事業計画案、予算案に中小図書館のサポートを検討していたかどうか教えてください。

回答：(会長校：東洋大学) 西地区部会における地区協議会交付金(5地区分)が、前年度8万円から今年度は18万円に増額となった。ただし、2015年度のみ措置となる。地区協議会交付金の用途は各地区協議会が決定するが、比較的小規模な図書館の各研究大会等への参加費に充てるといった裁量権も認められている。

(部会長校：学習院大学) 東地区部会では、今年度の事業計画案、予算案を計画するにあたり西地区部会のような中小図書館のサポートについては検討していない。

議長から拍手をもって承認に代えたいとの提議があり、協議事項 3、4 について原案どおり拍手で承認された。

III 承合事項

提出なし

IV 懇談事項

研究部予算の繰越金額が多いため、長期的な展望について伺いたいとの意見があった。これを受けて、研究部担当理事校(桜美林大学)より以下の回答があった。

昨年度の研究部運営委員から繰越金額の用途について検討を続けている。現時点では長期的な展望までに至っていないが、大学図書館支援機構に委託している研修分科会(単年度活動)をもう1つ発足することを検討している。今後、会長校、部会長校とも相談し繰越金の有効活用について検討を進める予定である。

V その他

特になし

以上をもって、全ての議事が終了し議長が閉会を宣言した。

以上